

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【植水中学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題>数学的な基本的、基礎的な知識・技能の習得が二極化している。また、さいたま市学習状況調査の2、3年生の結果で、数と式の単元が市の平均を3ポイント以上下回っている。</p> <p><指導上の課題>学級全体で、同じ学習課題を設定しにくい。</p>	⇒ スタディサプリを活用し、基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。その際、達成度を記録し、各自が達成状況や苦手な単元を振り返るようにする【毎週水曜日朝の会後に実施】。 少人数指導を実施し、習熟度にあった課題に取り組めるようにする【通年】
思考・判断・表現	<p><学習上の課題>数式やグラフから読み取ったり、数式で表現したりすることが苦手であり、特に関数の単元が、全学年ともに市の平均を3ポイント下回っている。</p> <p><指導上の課題>基礎的、基本的なことの習得に重きを置いているため、思考したり、表現したりする時間を十分に確保できていない。</p>	⇒ 数学において、3年生で少人数指導を実施し、基礎・基本についてじっくり考えるコースと応用的な内容について深めるコースに分けて、習熟度にあった内容の授業を選べるようにする【通年】。2年生では、反転学習によって思考する時間を多く確保し、個人で考えたり、友達と教え合ったりする機会を作る【毎時間設定】。

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、特に短歌などの「表現の技法」について課題が見られた。解答類型を見ていると、「夕暮れ」が体言と区別できなかったり、「庭に月待つ」が直喩であると答えた生徒が多かった。例えや文の成分についての理解が不十分であると考えられる。</p> <p>数学の「数と式」において、四則等の計算は理解しているが、文字を使って表したり、文字で等式を変形したり、規則性を説明したりするなど、文字を使った数式の処理や説明に課題が見られる。説明する際に、式を用いて簡単に説明できるよさを十分に実感させたい。</p>	
思考・判断・表現	<p>国語の話すこと、聞くこと、書くことについて全国平均を大きく上回り、市内でも高い理解度がある反面、読むことについて課題が見られた。読むことについて、「主張と例示」の関係や短歌の描写をもとに内容を捉えることは全国平均並みに理解しているが、内容を解釈したり要約したりする力に課題があり、普段から本を精読したり、新聞を読んで理解したりする機会が不足していると考えられる。</p> <p>数学において、データやグラフを観察し読み取ったり、主張したりすることが苦手である。グラフやデータをかくだけで終わらず、協働的に意見を交換したり、話し合ったりする活動を重視したい。</p>	

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	毎週水曜日の朝にスタディサプリで数学の復習を行い、問題の正答率をプリントに記録するまでの一連の流れを形成できた。 中3数学で少人数指導を実施し、習熟度に合わせて課題に取り組める環境ができています。	変更なし
思考・判断・表現	B	中3数学において、基本コースと応用コースを開設し、生徒自らが自身の習熟度や目標に合わせてコースを選び、学習に取り組んでいる。 中2では、予習用のファイルをTeamsにアップロードし、授業中は協働的に問題を解決しながら進められている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)